

生徒会通信 第2号

軟式野球部 優勝候補相手に善戦するも及ばず!

5月21日(土) 小幡緑地公園野球場

準決勝

学校名	1	2	3	4	5	6	7	計
城北つばさ	2	1	0	0	0			3
クラーク	5	2	0	2	×			9

第73回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会軟式野球競技の第1日目が5月21日(土)に小幡緑地公園西園野球場で行われ、シード校の本校は準決勝で、初出場ながら実力派ぞろいで優勝候補のクラーク記念国際高校と対戦した。



初回、1死から2番杉本竜輝が四球で出塁し、3番米山快が見事にレフト前へ運ぶと、4番加藤駿弥が四球を選び、満塁となる。すると5番川合ゴッディへの投球が押し出しの死球となり、1ヒットで先制点を奪うと、さらに相手投手の暴投で追加点を入れる。その後も6番小川真司が四球を選び、満塁のチャンスが続いたが、後続が連続三振に倒れ、この回を2点で終える。

その裏、先発の吉井涼太は、先頭打者を味方のエラーで出塁させると、続く打者にレフトスタンドへ運ばれ、あっという間に同点とされてしまう。さらに後続に死球を与えると、またしても味方のエラーでピンチを広げ、連続エラーで2点を勝ち越される。リズムを崩した吉



井はその後、1死をとるも、下位打線に連続四球を与え、5点目を失ったところで無念の降板となる。後を託された2番手の杉本は、変化球をうまく使って相手のタイミングを外し、1死満塁の大ピンチを無失点で切り抜ける。

反撃したい打線は2回、1死から、1番吉井がライト線へ見事な2塁打を放つと、杉本、米山が連続四球を選び、チャンスを拡大す



る。すると相手投手の暴投で1点を奪い、さらに1

死1・3塁と1発出れば逆転のチャンスを迎えるも、4番の加藤がまさかの併殺打に倒れ、この回1点止まりとなる。

するとその裏、1死から四球で出塁を許すと、相手の5番打者にレフトスタンドへ運ばれ、リードを4点

に広げられる。

4回にも2点を奪われ6点差とされた打線は、3回に川合、小川、小松雷悟が連続四死球を選び、無死満塁



のチャンスを作るも、後続が続かず無得点に終わる。4回にも2死1・3塁のチャンスを作るが、打線

が繋がらず、得点を奪うことができない。最終回にも1死から途中出場の加藤勇翔、代打の山下京介が連続四死球で出塁し、1死1・2塁のチャンスを作るも、吉井が放ったセンターライナーで走者が飛び出し、併殺で試合終了となった。(文責：鈴木貴之)



次回予告 3決 VS 刈谷東(通) 5月28日(土)10:00～ 小幡緑地公園西園野球場